

認定書

国住指第 3032 号
平成 26 年 12 月 12 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-3991
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材 (不燃材料 (金属板を除く))

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚 さ (mm)	3.0 \pm 0.3以下
表面化粧材の質 量 (g/m ²)	495.0 \pm 49.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙 …厚さ3.0\pm0.3mm以下 質量495.0\pm49.5g/m²以下 (有機質量190.0\pm19.0g/m²以下) 構成： [1]化粧：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は(1)と(2)の組合せとする …質量25.0\pm2.5 g/m² (固形量) 以下 (有機質量5.0\pm0.5g/m²以下)</p> <p>(1) 合成樹脂：質量15.0\pm1.5g/m² (固形量) 以下 (有機質量5.0\pm0.5g/m²以下) 構成 (g/m²) { 合成樹脂※¹ ……………5.0\pm0.5以下 (但し、ポリエステル系は4.0以下とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料※⁷ ……0～14.0\pm1.4 無機質系添加剤※² ……………0～14.0\pm1.4</p> <p>(2) 印刷インク：質量15.0\pm1.5g/m² (固形量) 以下 (有機質量5.0\pm0.5g/m²以下) 構成 (g/m²) { 合成樹脂インク※³ ……………5.0\pm0.5以下 無機質系充てん材、無機質系顔料※⁷ ……0～14.0\pm1.4 無機質系添加剤※² ……………0～14.0\pm1.4</p> <p>(3) なし</p>

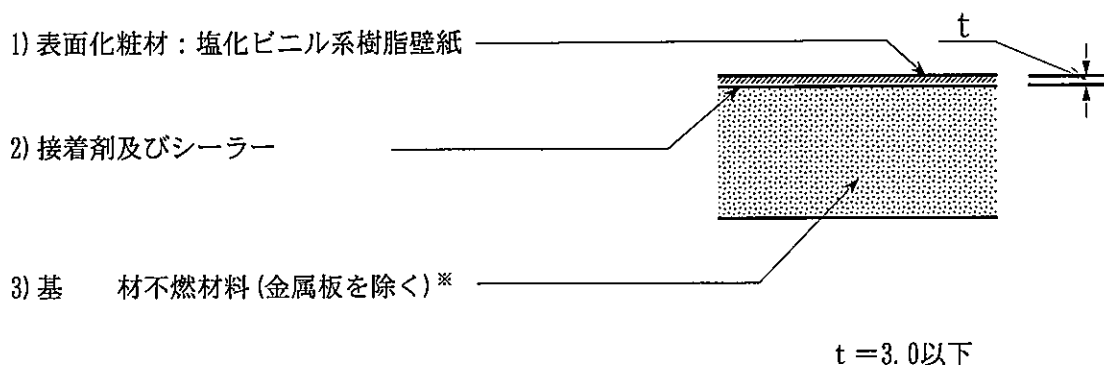
項 目	仕 様	
表面化粧材 (つづき)	[2] 主素材：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする	
	(1) 塩化ビニル系樹脂	
	…厚さ 2.3 ± 0.23 mm以下	
	質量 320.0 ± 32.0 g/m ² 以下 ^{※4} (有機質量 120.0 ± 12.0 g/m ² 以下 ^{※5})	
	構成 (g/m ²) ^{※4}	
	塩化ビニル樹脂	89.6 ± 9.0 以下
	可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	48.2 ± 4.8 以下
	(但し、減粘剤は、 $0 \sim 8.5 \pm 0.9$ の範囲とする)	
	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	17.9 ± 1.8 以上
	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスチレンスチレンポリブタジド)	0 $\sim 4.0 \pm 0.4$
	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	2.8 ± 0.3 以下
	有機質系顔料 ^{※8}	0 $\sim 2.3 \pm 0.2$
	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	0 $\sim 1.7 \pm 0.2$
	(2) 塩化ビニル系樹脂	
	…厚さ 2.3 ± 0.23 mm以下	
質量 310.0 ± 31.0 g/m ² 以下 ^{※4} (有機質量 110.0 ± 11.0 g/m ² 以下 ^{※5})		
構成 (g/m ²) ^{※4}		
塩化ビニル樹脂	82.1 ± 8.2 以下	
可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	44.3 ± 4.4 以下	
(但し、減粘剤は、 $0 \sim 7.9 \pm 0.8$ の範囲とする)		
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	16.4 ± 1.6 以上	
有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスチレンスチレンポリブタジド)	0 $\sim 3.6 \pm 0.4$	
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	2.5 ± 0.3 以下	
有機質系顔料 ^{※8}	0 $\sim 2.1 \pm 0.2$	
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	0 $\sim 1.6 \pm 0.2$	
(3) 塩化ビニル系樹脂		
…厚さ 2.3 ± 0.23 mm以下		
質量 300.0 ± 30.0 g/m ² 以下 ^{※4} (有機質量 100.0 ± 10.0 g/m ² 以下 ^{※5})		
構成 (g/m ²) ^{※4}		
塩化ビニル樹脂	74.6 ± 7.5 以下	
可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	40.2 ± 4.0 以下	
(但し、減粘剤は、 $0 \sim 7.1 \pm 0.7$ の範囲とする)		
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	14.9 ± 1.5 以上	
有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスチレンスチレンポリブタジド)	0 $\sim 3.3 \pm 0.3$	
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	2.3 ± 0.2 以下	
有機質系顔料 ^{※8}	0 $\sim 1.9 \pm 0.2$	
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	0 $\sim 1.4 \pm 0.1$	

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{*9}：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙：</p> <p>…厚さ0.5 ± 0.05mm以下</p> <p>質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量65.0 ± 6.5g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{*10} …65.0 ± 6.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{*11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{*11}15.6 ± 1.56以下とし、かつ有機質量を52.0 ± 5.2以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{*1} …8.8 ± 0.88以下 有機繊維^{*10} …46.0 ± 4.6以下 (但し、合成樹脂^{*1}を使用する場合、有機質量を47.0 ± 4.7以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{*11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{*11}は$1.0 \pm 0.1 \sim 16.6 \pm 1.66$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{*7} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p> <p>(2) 裏打紙：</p> <p>([2] 主素材が(2)又は(3)の場合に限る)</p> <p>…厚さ0.5 ± 0.05mm以下</p> <p>質量150.0 ± 15.0g/m²以下(有機質量75.0 ± 7.5g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{*10} …75.0 ± 7.5以下 (但し、合成樹脂系繊維^{*11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{*11}18.0 ± 1.80以下とし、かつ有機質量を60.0 ± 6.0以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{*1} …10.1 ± 1.01以下 有機繊維^{*10} …53.0 ± 5.3以下 (但し、合成樹脂^{*1}を使用する場合、有機質量を54.0 ± 5.4以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{*11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{*11}は$1.0 \pm 0.1 \sim 19.2 \pm 1.92$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{*7} …$0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が(3)の場合に限る) …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下 質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$85.0_{\pm 8.5}$g/m²以下) 構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※10} …$85.0_{\pm 8.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11}$20.4_{\pm 2.04}$以下とし、かつ有機質量を$68.0_{\pm 6.8}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …$11.6_{\pm 1.16}$以下 有機繊維^{※10} …$61.0_{\pm 6.1}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$62.0_{\pm 6.2}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11}は$1.0_{\pm 0.1}$～$22.2_{\pm 2.22}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※7} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>※1:合成樹脂は、エポキシ・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。 ※2:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。 ※3:合成樹脂^{※1}は、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、エポキシ系、酢酸ビニル系、エポキシ・アルコールのいずれか、又は組合せとする。 ※4:質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。 ※5:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。 ※6:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメチル酸系のいずれか、又は組合せとする。 ※7:無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、亜酸化亜鉛、シリカ、金属粉(アルミニウム)、鉍物粒及び鉍物粉のいずれか、又は組合せとする。 ※8:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。 ※9:裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non woven paper)のいずれかとする。 ※10:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※11}のいずれか、又は組合せとする。 ※11:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤 …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%) { でん粉のり …… $80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※12} …… $20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> </div> </div> <p>[2] シーラー:合成樹脂^{※13} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤 …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%) { メチルセルロース …… $80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※12} …… $20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> </div> </div> <p>[2] シーラー:合成樹脂^{※13} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>※12:補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※13:合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>不燃材料(金属板を除く)</p> <p>平成12年の建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位: mm)



※平成12年の建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの